

や 広報たしる

No. 400

昭和61年12月号

田代町企画管財課

2,000部発行

田代町町民憲章：礼儀を重んじ親切をつくし、おもいやりのある町をつくります。



役場正面玄関にて

人口のうごき
昭和61年11月1日現在

住民基本台帳人口	前月に対する増減
男 1,976 人	△ 8 人
女 2,183 人	△ 4 人
計 4,159 人	△ 1 人
世帯数 1,453 戸	1 戸

秋の火災予防運動(11月26日～12月2日)

川原幼年消防クラブが初参加

秋の火災予防運動が始まった11月26日、中央運動場より役場までの市中行進に川原保育園の幼年消防クラブが参加し、火災予防を町民に呼びかけました。

当日は、秋風の吹く寒い日でしたが川原幼年消防クラブを先頭に各分団の消防車による町内パレードに沿道の人から盛んな拍手をあびていました。

//マッケー一本、火事のもと//

第二回MBC秋まつりふるさと特産市が十一月二十二日(土)二十四日(月)にかけて鹿兒島市与次郎MBCグランドで行われ、初出場ながら「MBC賞」を受賞しました。



MBC賞受賞

第二回MBC秋まつり ふるさと特産市「MBC賞」受賞

この「MBC秋まつり特産市」は、県下各市町村の特産物や民芸品等を一同に展示、即売し広く県産品の振興を図るため行われています。今回は、八十八市町村が参加し、田代町から、むらづくり一品運動の柿、シイタケ、キヌサヤをはじめ、花瀬漬、カボチャ等のほか、花瀬焼、小鳥かご、自在かぎ等を展示しました。また、店頭では、おもちの試食会を行ない他の町よりたいへんに

これは、「個人県民税の賦課徴収について、常に迅速、的確であり、厳しい税環境に受けました。」



県知事より受賞

田代町が納税功労者感謝状を受賞

もかわならず徴収率は高率を維持し、毎月の払込も的確に行われ優秀な成績であるとともに、賦課資料及び納税組合の指導についても率先して協力している」など、県税収入確保と県税務行政の運営に大きく貢献していることを認められたものです。

この表彰を機会に更に、町民皆様の税に対する御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

民生委員が代わりました

民生委員の方々の任期が、11月30日で満了となり、改選が行われました。民生委員は、3年間の任期の中で次の職務を行っていただきます。

1. 常に調査を行い生活状態をあきらかにする。
2. 生活保護を要する者を適切に保護指導する。
3. 社会福祉事業施設と密接に連絡し、その機能を助ける。
4. 社会福祉事業法人その他の関係行政機関の業務に協力する。

民生委員

氏名	親	担当	部落
井手籠	下	馬場	東ノ原、長谷
竹之内	嫡夫	東西中郡	橋ノ口、中村
岩下	享	岩崎	表木、折小野
新村	フミ	山ノ口	山下
田尻	静夫	東西大原	中尾
野本	清	新田	内ノ牧、重岳
林	正美	鶴戸野	久木野、盤山
白挑	晋	富田	富田
久保	クミ	平上	柴立、上柴立
		原沢	池野、瀬戸口
		猪鹿倉	鳥瀬
		早瀬	郷ノ原、辺志切
		鶴園	

十一月十八日、鹿兒島県統計大会が鹿兒島市の市民文化ホールで開催され、下部落の小牧昌枝さんが通商産業大臣



小牧昌枝さん

小牧昌枝さんが 通商産業大臣より感謝状を受賞

ぎわってまいりました。尚、緑豊会会員並びに出品してくださった方々には前日より会場設備並び出品、販売等に協力していただき誠にありがとうございました。

より感謝状を受賞されました。小牧さんは長年、「商業統計調査」の調査員として田代町全域に亘る、商業の実態を明らかにする統計調査に積極的な協力をされ、これらの功労をたたえられ、今回の受賞にいたったものです。

町民の皆様と心から祝福申し上げます。

田代ママさんソフトクラブは、五十七年五月、ソフト好きの母親により結成され月二、三回の練習を重ねて来ました。今年は大きな大会に、三回出場し、最後に準優勝したナインは笑顔いっぱいでした。現在、部員は、二十八歳から三十八歳の十七名が加入しています。今後は、家庭を大事にしながら子供をつれて練習に参加し、「夢は全国大会へ」とふくらんでいます。



田代ママさんソフトクラブ

大隅ママさんソフト大会 「田代ママさんソフトクラブ 準優勝」

昭和61年度

田代町振興大会



町長あいさつ



前田晏氏の講演

昭和六十一年度田代町振興大会が、去る十一月三日、開発センターに於いて、町民の皆さん総参加で盛大に開催された。

はじめに、「村づくりに取り組み」と題して、村づくりの先進地の映画が放映された。開会のことばの後、松田町長が、「十一月三日、文化の日、自由と平和を愛し文化をすすめる国民の祝日に町民の皆様方が多数ご参集賜り厚くお礼を申し上げます。伸びゆく田代、健康で明るく、心のかよい合う、豊かな町づくりをめざし、各種補助事業の取り組みや地域の特性を生かした、むらづくり一品運動の推進をはかるため今後一層、町民各位の御協力をお願いいたします。」とあいさつを述べたあと、各方面に亘る功績に対し表彰がこなわれた。今年は、功労賞として個人七名、団体一グル

ープ、奨励賞九小組合が栄える表彰を受けた。

そして、激励のことばに続き、「郷土愛に燃え、人づくり、物づくり」と題して、南日本新聞社編集局、前田晏次氏の講演がおこなわれ、「宮之城ちくりん村誕生まで」を話された後、「ちくりん村を宣伝するため、ミスかぐや姫を選考したり、物産展の開催観光農園の設置、焼酎ちくりん、ちくりんポーロ、かぐや姫人形等の特産物の製造」等、ちくりん村の活動を話され、最後に、「田代町の特色を生かし、村おこしをやる中で終りのない運動を続けるため、三ほれ運動(土地にほれ、人にほれ、仕事にほれ)や、三気運動(やる気、本気、根気)等の運動をやってほしい」



功労賞受賞のみなさん

と締めくくられた。尚、表彰された方々は次のとおりです。

功労賞

産業経済の部

故入船栄

舞原傳

中村道哉

井手籠敏

柳田清二

大垣ミチエ

大垣チミ

大藤グループ

(代表 猪鹿倉房子)

奨励賞

納税の部

下、馬場、東ノ原、東中郡

山下、柴立、上柴立、上原

猪鹿倉

更に、会場には児童生徒作品や、文化協会員による生花



奨励賞受賞のみなさん

やラン、オモト等が展示されたほか、場外に於いては、各種農林業機械の展示即売、集荷場では、安くて新鮮な農産物の展示即売がなされた。特に、農産物の展示即売がひときわにぎわい、たちまち売り切れました。



盛況だった農産物即売



丹精こめて育てたラン、オモト展示場

第三十回県秋の赤ちゃんコンクールで富尾洋隆さんの長女直子ちゃん（七ヶ月）が準特選児に選ばれました。赤ちゃんコンクールは、心身共に健やかな子供を育てる為に春と秋の年二回開催され



直子ちゃんとおかあさんの栄子さん

赤ちゃんコンクール 富尾直子ちゃんが 準特選児

すこやかな、丈夫な子供を産み育てる、基盤となる妊娠中の母体の健康を守る為に、又安心して分娩ができる様に、助産施設入所制度があります。これは妊娠中、分娩と母体の健康を守る為に医学的管理がどうしても必要な妊婦、又は経済的理由等によりその健康安全がそこねられるおそれのある妊婦さん等に対して適

健康だより 助産施設入所制度を ご存知ですか

用される制度です。ただし指定医療機関が県立鹿屋病院になっていきますので、妊娠初期より受診し、出産もここでしなければなりません。制度の内容は出産費用の減額です。（ただし所得階層により異なります。）もしやと思う方がいらっしゃいましたら、役場民生課福祉係又は保健婦迄おたづね下さい。少数少産の中ですから、強い子供を産んでいただく為に妊娠中から、又結婚前の健康づくりから気をつけてみてはいかがでしょうか。

ています。今回は、県内約一万六千人の対象児の中から各市町村の推薦により二百二十五人が参加し、準特選児九十九名、特選児十六名が選ばれたところです。直子ちゃんは、出生時の体重は二千九百七十八グラムで現在八千九百グラムです。直子ちゃんの健やかな成長を祈ります。尚、赤ちゃんコンクールに出場希望の方は、役場より推薦します。

十二月の納税は町県民税 固定資産税の第四期分です。

搬入して処分される方は、毎週土曜日、午前九時から午後四時まで行います。尚、詳しいことは、役場民生課までお問合せください。

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

「篤志寄附金」 田代町社会福祉協議会

さきに御逝去されました方の御遺族より、香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の御寄附を賜りました。厚くお礼申し上げますと共に御冥福をお祈り致します。

中村 カツエ様



鹿児島市在住田代町出身者会 準備発起人会開催

都市と農村を結ぶ交流事業を推し進めている田代町では、十一月十七日、鹿児島市のホテルで「鹿児島市在住田代町出身者会準備発起人会」を開催し、来年一月中旬を目途に、「鹿児島市田代会」を発足するため、「鹿児島市を地域ごとに区分する」「各部落単位に名簿を作成する」等、具体的な意見が出されました。



準備発起人の皆さん



小牧剛さんあいさつ

現在、「近畿田代会」をはじめ、「奈良田代会」が発足している中で、鹿児島市からも早くから「田代町出身者会」を発足しようという声が出されています。そしてこのほど、県土改選常務理事の小牧剛氏と、県同和对策課長の名ヶ迫紀郎氏の二名の呼びかけにより、鹿児島市在住者九名が参加するとともに、田代町からも、松田町長をはじめ、農協、商工会等関係者が参加しました。今後、田代町出身者同士が交流を深め、自分の生まれ育った古里を見直し、町出身者の二世、三世とも協力して「古里興し」を行い、観光資源の利用、特産物のPRに努め、親睦をはかるため、来年一月中旬までに、鹿児島市内に在住する約五百名に参加を呼びかけ大会を開催し、正式に田代会を発足させる予定です。尚、以前、各部落の鹿児島市在住者の調査をおこないましたが、まだたくさんの方がもれていくようです。心あたりの方がありましたら企画管財課まで御一報ください。

「全国商工青年部 連合会長賞」 田代町商工青年部が受賞



姫ヶ迫商工青年部部長

去る十月六日、商工青年部・婦人部全国組織化二十周年を記念し、商工青年部に表彰状・盾が贈られた。

サラリーマンの奥さん 国民年金の手続きをお早目に！

新しい年金制度では、厚生年金保険や共済年金に加入しているサラリーマンに扶養されている奥さんは、国民年金の第三号被保険者として加入することになりました。これからは、役場の窓口で次のような手続きが必要となります。この手続きを忘れずと将来、年金を受けられなくなるおそれがあります。必ず手続きをされますよう、お願いいたします。

①国民年金や厚生年金保険に加入していた人が結婚して被扶養者となったとき。
②本人が収入を得るようになった時や、離婚したときなどで、主人から扶養されなくなったとき、または、ご主人が退職して厚生年金保険、各種共済組合の加入者でなくなったとき。
③配偶者が転職して加入年金制度が変わったとき、例えば、ご主人が共済年金から厚生年金保険に変わったとき。

商工青年部は昭和四十二年に結成され、現在商工業の後継者等十三名で組織し、地域振興事業の一環として花瀬公園まつり・夏まつりの開催。現在、町をあげての課題になっているむらおこし運動への積極的参加。又、企業経営に必要な知識や技術習得のための研修活動にも積極的に取り組んでおり、今回の活動内容及び実績が認められ、受賞にいたったものです。尚、今後共商工青年部の事業活動等際しまして町民皆様の御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

村づくり一品運動 「管理作業」

柿

本年をふりかえると気象条件には恵まれたが、うどんこ病や落葉病、こがねむし等の病害虫の発生が目立った。これらを反省し、次の対策を行って下さい。

一、カキ園の落葉処理

落葉病菌等を、一掃するため、落葉を集め焼くか、土の中に深く埋めて下さい。

二、苗木の植え付け

秋植えの時期です。植付けにあたっては、根を乾かさないうようにすることが植え傷みをなくする上において大事です。苗木は、接木部より五十センチ位の充実した芽を残して切返し、折れたり、傷ついている根はその部位で切りかえし、自然の状態に広げて（直根も使用）細土を根に密着するよう、静かに水をやり、土をおちつかせる。深植えにならぬよう接木部が地表面に常に出ているよう注意して植える。植付け後は、支柱をたて苗木が動かぬようにし、また、乾燥防止のため、しきわらを行ない苗木にも春まで「わら」を巻付けておきます。



おみこしワッショイ

ナナなどもありました。つぎは、おみこしかつぎです。一年生から六年生まで、じゅんばんに、かついでいきます。一年生が、おみこしをかついで、体育かんを一回りするの、みんなでおうえんをしました。

「ワッショイ、ワッショイ。」とかけをえを掛けました。わたしは、みんながとても元気だったので、びっくりしました。三年生が、かついでるとき、とちゅうで竹がおれたので、おかしかったです。でもみんながんばってかついでいました。とても楽しかったです。

去る十一月三日(月)第十回町民文化祭が、はなやかに開催されました。

舞台発表の方は、文化協会員の方々ばかりでなく、学校の児童生徒、婦人会員の方が多数参加され町民文化祭として盛り上げていただきました。

また、この文化祭のために町民の方々から多くの作品を出品していただきました。

さらに、青年団の方々がバザーを開いて下さるので昼食の心配もなくなりっぱな文化祭となりました。協力をしていた、多くの団体の皆さん誠にありがとうございました。



文化協会長 開会のあいさつ

より高く
より深く
より広く
第十回町民文化祭
開催



青年団の皆さんのバザーの様子



会場内の展示風景



エアロビクス



幼稚園の皆さん



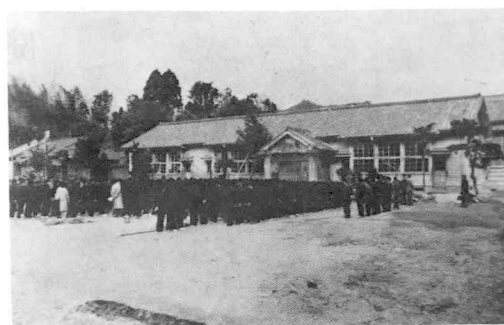
田代小の一輪車乗りの皆さん



橋ノ口おどりグループの皆さん

教育だより

田代中学校旧校舎

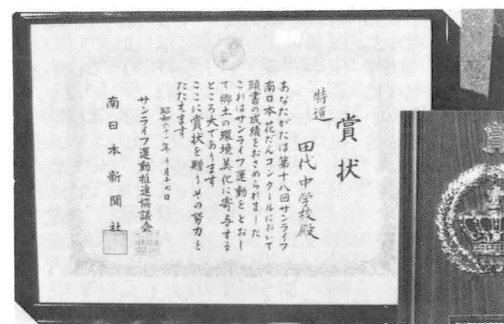


田代中旧校舎

田代中学校を卒業された先輩の方々に中学時代をこの写真の校舎で学ばれた方は、なつかしい思い出が蘇って来られるのではなからうか。

旧校舎は給食センター付近にあり、昭和二十二年四月、新制中学校の発足から昭和四十一年三月五日、上ノ原台地の現校舎に移転するまで、その歴史的役割を十分に果たしました。

当時、教頭であった図師貞夫先生の「学校建築の歩み」



三年連続特選に輝く花だんコンクール



田代中、親子、職員奉仕作業

の記録の中に、次のような記事が書かれています。

「昭和三十四年七月十六日学級増により教室の不足が出て来た。年次の生徒増から考え教室を増築するにも校地が段々で狭いため校舎移転の必要を町当局に訴えた。三年間にわたる再度の訴えにより、昭和三十七年九月の町議会にて田代中学校校舎移転が満場一致で議決された。そこで翌三十八年一月中学校等問題対策協議会が発足、構成員として議長、教育委員長外に十八名の議員、有志、校長という各氏が選出され、中学校建設に本腰を入れる態勢が整って来た。」とあります。

今年もまた緑化優秀校
親子・職員奉仕作業で
田代中学校

本校では、土曜日午後親子職員奉仕作業を年間五回行なっています。主に夏休みから二学期の初め頃にかけて行っています。

奉仕作業の内容は学校周辺の草刈りや木々の手入れを行なっています。

そして、県緑化推進委員会県教育委員会主催の「学校環境緑化コンクール」に応募して昨年に続き優秀賞に選ばれました。これまで毎回にわたって奉仕活動に参加下さいました保護者、役員の皆さん本当にありがとうございました。



手をつかないでタイミングよく

とり入れ祭

大原小学校 二年 大浦地智美

十一月九日に、学校でとり入れまつりがありました。二時間じゅぎょうをして、体育かんにあつまりました。そして、もちをついていたのでびっくりました。白いゆげがたっていました。みんながじゅんばんにもちをつくことになりました。さいしょに一年生がしました。つぎは、いよいよわたしのばんです。すると、友だちのおみさんが「がんばってね。」といいました。キネをもつてみると、すぐおもしろくて、手がすべるようでした。わたしは、力いっぱいキネをふり上げました。がんばって、ベッタンベッタンともちをつきました。

つぎは、あかねさんという人のばんでした。おじさんが、「どっこいしょ。」といっていました。そうしたら、みんなわらいました。

つぎは、もちをもむばんです。みんなこつこつとみましました。わたしは、みんなのセーラーふくが、こならけで、まっ白くなっていたので、おかしく思いました。

それから、お母さんたちが、ついたもちを、やいていました。すみの上に、あみをのせていました。とてもいいにおいがしてきました。それは、もちに、しょうゆがついていたので、わたしは、すぐ食べたかったです。でも、きゅうしょくの時間に食べるんだから、楽しみにしておこうと思いました。

それから、きゅうしょくの時間までが、とてもながくかんじました。まだかなあ、まだかなあと思いました。

やっと、きゅうしょくの時間になりました。お父さんやお母さんたちと、むかい合って、ついたもちを食べました。一人に二こずつ、もちがはいっていました。やわらかくてとてもおいしかったです。もちのほかに、ぎゅうにゅうパ

地区芸術祭 サウスグリーンが 演奏して大好評

去る十一月九日、肝属地区芸術祭が高山町で開催されました。田代町からサウスグリーンのメンバー 十人が参加して、八曲を演奏してくれました。各曲の演奏が終る毎に会場から大きな拍手を送られていました。大変すばらしい演奏を披露して下さいました。

メンバーの皆さんの今後の活躍を期待します。また、町内の皆さん方でこのメンバーに加わって、音楽を演奏してみたい方がいましたらぜひご参加下さい。



サウスグリーンの演奏

昭和六十一年度肝属郡南部地区 婦人会運営研修会開催

去る十月二十八日に南部地区婦人会運営研修会が、田代町開発センターで、四百名が参加して盛大に開催されました。



肝属郡南部地区婦人会運営研修会

この会の目的は「国際化、情報化、高齢化の到来で私達地域婦人会の役割は、ますます重要になり大きく期待されている中で、さまざまな課題が山積している。ここに南部地区婦人会役員が集まり、より一層の連帯を深め、地域に根ざした婦人会会動のあり方を考える。」ことを中心に、事例発表の後、分科会、アトラクション、講演など意義ある研修でした。

田代サッカー少年団県大会 へ初出場



県大会開会式堂々の入場行進

十一月二日、三日に行なわれた県チビッ子サッカー大会大隅大会において、田代サッカー少年団は、寿・香月・柊原・寿北の各チームと対戦し三勝一敗の成績で県大会出場の権利を獲得しました。

十一月二十三日の県大会へ出場して、鹿児島市内の八幡FCと対戦し、初出場のハントイにもめげず、大善戦でした。結果は二対一で初陣を飾ることはできなかったけどよく健闘してくれました。

この大会を契機にますますのご健闘をお祈りしております。

県大会へ出場して 田代小六年 柴立 卓

十一月二十三日は、鹿児島で初出場の県大会だった。かもしけグラウンドで、開会式があった。何チームも来ていて、すっごくびっくりした。そして、西紫原小学校で試合があった。ぼくたちは、十二時から練習して、一時から試合開始だ。練習は、ダッシュを10本と、ヘディングとノットラップのシュートとか、ドリブルで人をぬくシュートの練習などをした。とってもつかれたけど、足や体がかかるようになった。そして、試合はじまって、前半は、まもりの方にかたよっていて自殺点をした。この一点をかせそうとがんばったけど、後半に一点いれた。ぼくがいつも11番を、マークしていなかったのが、わるかった。でも、南園君が待望の一点を入れて、二対一になった。しかし負けた。ぼくが、11番をマークしていたらなあと思った。でも次の、県予せん大会では、もっとそのことに、気をつけていきたいと思った。小学校の生活は残り少なくなりましたが、この県大会への出場は、よい思い出になるだろう。

肝属郡青年祭で棒おどりで 優秀賞に輝く

去る十一月十六日(日)郡の青年祭が、内ノ浦町で開催されました。

田代町青年団(団長富尾俊一)は、棒おどりで演技しました。呼吸の合った演技のすばらしさに会場いっぱい拍手が送られました。

最終審査の結果田代町は舞台発表の部で優秀賞に、意見発表の部で河野由美子さんが優秀賞に輝き、団員は大よろこびでした。また、アトラクションで、河野由美子さんがピアノ演奏をしたりして、田代町の青年団は、すばらしい活躍ぶりでした。



棒おどりの様子